

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公表番号】特表2002-510996(P2002-510996A)

【公表日】平成14年4月9日(2002.4.9)

【出願番号】特願平10-548584

【国際特許分類第7版】

A 6 1 M 39/02

【F I】

A 6 1 M 5/14 4 5 9 F

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月7日(2005.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成17年 2月 7日

特許庁長官 殿



## 1. 事件の表示

平成10年 特許願 第548584号

## 2. 補正をする者

名 称 ポール・コーポレーション

## 3. 代 理 人

住 所 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル206区  
ユアサハラ法律特許事務所

電 話 3270-6641~6646

氏 名 (8970) 弁理士 社 本 一 夫



## 4. 補正対象書類名

請求の範囲

## 5. 補正対象項目名

請求の範囲

## 6. 補正の内容

別紙の通り



別紙

請求の範囲

1. コネクタ・アッセンブリであつて、

開口を有する第1継手と、

開口を有し、且つ、前記第1継手に連結可能な、第2継手と、

前記第1継手及び前記第2継手のうちの一方と協働するように構成され、側壁を有する、ソケットと、

前記ソケット内に配置された弾性シーリング部材であつて、前記ソケット内に配置されて前記ソケットの前記側壁に接触する第1部分と前記ソケット内に配置されて前記ソケットの前記側壁から離間した第2部分とを有する、弾性シーリング部材と、

前記第1継手内に配置されており、ヘッドを有しており、且つ、前記ソケットと前記弾性シーリング部材とを通じて前記第2継手の前記開口内に軸線方向に移動可能な、ステムと、

を有することを特徴とする、コネクタ・アッセンブリ。

2. コネクタ・アッセンブリであつて、

開口を有する第1継手と、

開口を有し、且つ、前記第1継手に連結可能な、第2継手と、

前記第1継手及び前記第2継手のうちの一方と協働するように構成された、ソケットと、

前記ソケット内に配置された弾性シーリング部材であつて、第1部分、第2部分、及び第3部分を有し、前記第2部分が前記第1部分と前記第3部分との間に配置され、前記第2部分が前記第1部分及び前記第3部分よりも薄壁である、弾性シーリング部材と、

前記第1継手内に配置されており、ヘッドを有しており、且つ、前記ソケットと前記弾性シーリング部材とを通じて前記第2継手の前記開口内に軸線方向に移動可能な、ステムと、

を有することを特徴とする、コネクタ・アッセンブリ。

3. コネクタ・アッセンブリであって、  
開口を有する第1継手と、  
開口を有し、且つ、前記第1継手に連結可能な、第2継手と、  
前記第1継手内に配置されたステムと、  
開放端を有し、且つ、前記第1継手及び前記第2継手のうちの一方と協働する  
ように構成された、ソケットと、  
前記ソケット内に配置された弾性シーリング部材と、  
前記ソケットの前記開放端に取り外し可能に接合されたシーリング層であって、  
前記ソケットから取り外し可能なシーリング層と、  
を有することを特徴とする、コネクタ・アッセンブリ。

4. コネクタ・アッセンブリであって、  
開口を有する第1継手と、  
開口を有し、且つ、前記第1継手に連結可能な、第2継手と、  
連続した円筒形の側壁を備え、且つ、前記第1継手及び前記第2継手のうちの  
一方と協働するように構成された、ソケットと、  
前記ソケット内に配置された弾性シーリング部材と、  
前記弾性シーリング部材を覆うシーリング層と、  
前記第1継手内に配置されており、且つヘッドと前記第1継手に対しシールさ  
れる遠位側の先端とを備えたステムであって、前記第1継手、前記ソケット及び  
前記弾性シーリング部材を通って前記第2継手の前記開口内に軸線方向に移動可  
能である、ステムと、  
を有することを特徴とする、コネクタ・アッセンブリ。

5. コネクタ・アッセンブリであって、  
開口を有する第1継手と、  
開口を有し、且つ、前記第1継手に連結可能な、第2継手と、  
前記第1継手および前記第2継手のうちの一方に前記開口のところで連結され  
た、弾性シーリング部材と、  
前記弾性シーリング部材に接する、取り外し可能なシーリング層と、  
前記第1継手内に配置されたステムと、

を有することを特徴とする、コネクタ・アッセンブリ。

6. コネクタ・アッセンブリであって、

開口を有する第1継手と、

開口を有し、且つ、前記第1継手に連結可能な、第2継手と、

前記第1継手の前記開口内に配置されており、ヘッドを備えており、且つ、前記第1継手の前記開口を通って前記第2継手の前記開口内に軸線方向に移動可能な、ステムと、

前記ヘッドが前記第1継手の前記開口を通って移動しないように、前記第1継手と前記ステムとの間に配置された、曲げ可能な部材を有する、変形可能な係止装置と、

を有することを特徴とする、コネクタ・アッセンブリ。

7. コネクタ・アッセンブリであって、

開口と基端とを有する第1継手と、

開口と基端とを有し、且つ、前記第1継手に連結可能な、第2継手と、

前記第1継手の前記基端に取り外し可能に結合し、前記第1継手の前記基端を保護する、第1キャップと、

前記第2継手の前記基端に取り外し可能に結合し、前記第2継手の前記基端を保護する、第2キャップと、

前記第1継手及び前記第2継手のうちのいずれか一方の開口をシールするようになされたシーリング層と、

前記第1継手内に配置されており、ヘッドを備えており、且つ、前記第1継手の前記開口を通って前記第2継手の前記開口内に軸線方向に移動可能な、ステムと、

を有することを特徴とする、コネクタ・アッセンブリ。

8. 周囲環境から隔離された流体流路を提供するコネクタ・アッセンブリであって、

基端、開口及びソケットを有する第1継手であって、前記開口が前記流体流路の一部を形成し且つ基端を有し、前記ソケットが側壁及び基端を有する、第1継手と、

遠位側の先端、基端、開口及びソケットを有する第2継手であって、前記遠い側の先端が導管の部分に連結可能であり、前記開口が前記流体流路の一部を形成し且つ基端を有し、前記ソケットが側壁及び基端を有する、第2継手と、

前記第1継手のソケット内および前記第2継手のソケット内にそれぞれ配置された第1及び第2の弾性シーリング部材であって、各ソケットの側壁が前記弾性シーリング部材を取り囲み、各弾性シーリング部材が対向する開放端を有する中空本体と前記対向する開放端の間に延びる内部通路とを有し、且つ、各弾性シーリング部材が前記継手の材料より弹性的な材料から形成されている、第1及び第2の弾性シーリング部材と、

前記第1継手及び前記第2継手を互いに接続するように協働する複数の突出部分及び対応するスロットであって、前記突出部分が前記第1継手及び前記第2継手の間に伸長し且つ前記第1継手のおよび前記第2継手の前記基端を相互連結するように前記スロットに係合する曲げ可能なプロングを含む、複数の突出部分及び対応するスロットと、

少なくとも一つの取り外し可能なストリップ・アウト層であって、前記相互連結された第1継手及び第2継手の間に前記ストリップ・アウト層が配置され且つ前記ストリップ・アウト層が前記第1及び第2の弾性シーリング部材の前記端部に重なる第1位置と、前記第1及び第2の弾性シーリング部材の前記端部から前記ストリップ・アウト層が取り外される第2部分であって、前記弾性シーリング部材が互いに接触し前記第1継手及び前記第2継手の前記開口を介して前記第1継手及び前記第2継手を通る流体流路を形成する第2位置との間で可動であり、且つ、前記ストリップ・アウト層が前記第1位置から前記第2位置へ動くことができるようとする、前記相互連結された第1継手及び第2継手の周囲を越えて延びるプルタブを有する、ストリップ・アウト層と  
を有することを特徴とする、コネクタ・アッセンブリ。

9. 互いにかみ合うコネクタに連結されて周囲環境から隔離された流体流路を提供するコネクタ・アッセンブリを構成するコネクタであって、前記コネクタは、

遠位側の先端、基端、開口及びソケットを含む継手であって、前記継手の前記遠位側の先端が導管の部分に接続可能であり、前記継手の開口が基端、ボア及び

座ぐりを有し且つ前記流体流路の一部を形成し、前記ボアは基端を有し且つ該ボアより大きな内径を有する前記座ぐりにより前記ボアがその基端において浮きあがるように形成されており、前記ソケットが側壁と基端とを有するように構成されている継手と、

前記継手の前記ソケット内に配置された弾性シーリング部材であって、前記ソケットの前記側壁が前記弾性シーリング部材を取り囲んでおり、前記弾性シーリング部材が対向する開放端を有する中空本体と前記対向する開放端の間に延びる内部通路とを有し、且つ、前記弾性シーリング部材が前記継手の材料より弾性のある材料から形成されている、弾性シーリング部材と、

前記継手から延び、前記互いにかみ合うコネクタに接続可能な、プロングを有する複数の突出部分であって、前記プロングが、曲げ可能であり、キャッチをしており、且つ前記互いにかみ合うコネクタのスロットに係合可能に構成されている、複数の突出部分と、

取り外し可能なストリップ・アウト層であって、前記ストリップ・アウト層が前記弾性シーリング部材の端部及び前記開口の前記基端に重なる第1位置と、前記弾性シーリング部材の前記端部及び前記開口の前記基端から前記ストリップ・アウト層が取り外される第2部分との間で可動であり、且つ、前記ストリップ・アウト層が前記第1位置から前記第2位置へ動くことができるようとする、前記継手の周囲を越えて延びるプルタブを有する、ストリップ・アウト層とを有することを特徴とする、コネクタ・アッセンブリ。

10. 流体システム又は装置であって、請求項1乃至8のうちのいずれか1項に記載のコネクタ・アッセンブリと、前記第1継手及び前記第2継手のうちの一方に連結された流体容器又は導管と、を有することを特徴とする、流体システム又は装置。

11. 流体システム又は装置であって、請求項1乃至8のうちのいずれか1項に記載のコネクタ・アッセンブリを有し、前記第1継手及び前記第2継手のうちの一方が付属品及び前記付属品に直接接続される容器を含むことを特徴とする、流体システム又は装置。

12. 請求項1乃至5のうちのいずれか1項に記載のコネクタ・アッセンブリで

あって、前記弾性シーリング部材が、対向する開放端と前記対向する開放端の間に延びる内部通路とを有する、弾性的に圧縮可能且つ膨張可能な構造を有することを特徴とする、コネクタ・アッセンブリ。

13. 開口を有する第1継手と、開口を有する第2継手とを、前記第1継手及び前記第2継手内に流体が存在しない状態で、結合させる工程と、

ヘッドを有するシステムを、前記第1継手の前記開口を通して前記第2継手の前記開口内に前進させることによって、前記第1継手及び前記第2継手を通る流体流路を形成する工程と、

流体遮断機構を開放することによって、前記第1継手及び前記第2継手を通る流体流れを形成する工程と、

を有することを特徴とする、連結方法。

14. 開口をそれぞれ有する第1継手と第2継手のうちの一方の基端に作動的に連結しているキャップを、取り外す工程と、

前記第1継手と前記第2継手とを結合させる工程と、

前記第1継手及び第2継手の前記開口をそれぞれ覆うストリップ・アウト層を、取り外す工程と、

ヘッドを有するシステムを、前記第1継手の前記開口を通して前記第2継手の前記開口内に前進させることによって、前記第1継手及び前記第2継手を通る流体流路を形成する工程と、

を有することを特徴とする、連結方法。